

第

～過去最高1,793人のランナーが参加～

30回記念新茶・大野岳マラソン in えい



▲観客の声援を力に大野岳の山頂を目指して走るランナーの皆さん。



4月29日(昭和の日)、額娃運動公園を発着点に「新茶・大野岳マラソン in えい」が開催されました。市内外から参加した1,793人のランナーが、お茶の香り漂う緑の豊かなコースを駆け抜けました。

大会結果(各部門1位、敬称略)

◇フル登山コース(18km:833人)

男	30歳未満	湯前 将	1時間04分29秒
	30歳代	福迫 誠	59分08秒
	40歳代	松永 鉄男	1時間05分13秒
	50歳代	砂田 高揚	1時間06分07秒
	60歳代	田畑 正	1時間19分32秒
女子	70歳以上	外園 幸一	1時間17分15秒
	40歳未満	日置ひろみ	1時間23分35秒
	40歳以上	松園 智美	1時間18分14秒

◇さわやかコース(5km:382人)

男	小学生	千知岩瑞希	19分26秒
	中学生	今村 愁	16分43秒
	30歳未満	有上 純充	16分21秒
	30歳代	市坪 和也	19分43秒
	40歳代	川畑 成人	16分56秒
女子	50歳代	谷口 章一	18分40秒
	60歳以上	春田 武志	19分43秒
	40歳未満	松尾 杏華	21分03秒
	40歳以上	富奥 裕子	21分21秒

◇らくらくコース(3km:578人)

男	小学3年生以下	中森 楽稀	12分09秒
	小学4年生以上	上籠 優斗	11分55秒
	中学生	加藤 大夢	10分29秒
	40歳未満	下池 正	09分58秒
	40歳以上	内野 譲二	10分31秒
女子	小学3年生以下	三宅 楓香	13分56秒
	小学4年生以上	川崎香奈美	12分06秒
	中学生	田之頭瑞葵	11分22秒
	40歳未満	西田 明代	11分55秒
	40歳以上	本村 鯉恵	12分52秒

先

～薩摩鶏心会の鶏卵・鶏肉P.R活動～

生を卵と鶏肉でおもてなし

市へ赴任してきた教職員の皆さんに鶏卵・鶏肉を紹介するため、4月4日に知覧文化会館で行われた転入教職員服務宣誓式終了後に、卵と鶏の炭火焼きが配られました。これは、養鶏農家の後継者団体である薩摩鶏心会が企画したもので、式に出席した皆さんは、市を代表する特産品を笑顔で受け取っていました。薩摩鶏心会では、今後も、鶏卵・鶏肉の魅力を多くの消費者へ伝える活動を行う予定です。



▲先生たちに市の特産品の良さを知ってもらおうと、卵と鶏の炭火焼きを贈る薩摩鶏心会の皆さん。

ピ

～市立小・中学校入学式～

ツカピッカの1年生

4月6日、市内の小・中学校で入学式が行われ、245人の児童が小学校へ、271人の生徒が中学校へ入学しました。額娃小学校では男子7人、女子7人、計14人が入学。児童を代表して6年生の寺田大輝さんが「ようこそ額娃小学校へ。私たちも今日を楽しみにしていました。学校行事は楽しいものばかりです。皆さんが楽しい学校生活を送ることができるよう応援します」と話して1年生を歓迎しました。



▲額娃小学校1年生の皆さんと担任の棚瀬淳也先生(後列左)。学校生活の始まりを笑顔で迎えました。

～産廃不法投棄防止合同パトロール～ みのポイ捨てはやめよう

3月27日、県産業廃棄物協会南薩支部、加世田保健所および市役所市民生活課生活環境係との合同で、県道263号霜出川辺線の清掃と、不法投棄防止のための警告看板設置を行いました。回収したごみは、約15Lの土のう袋で50袋ほどになり、そのほとんどが一般家庭からの物でした。協会の桑畑昭三南薩支部長は「子どもたちにごみを残してはいけない」と年々増える不法投棄への危機感を訴えました。



▲設置された不法投棄防止のための警告看板。子どもたちの未来のためにも、家庭から排出されるごみは、適正に分別して処理しましょう。

～食肉加工工場を増設～ 株式会社エヌチキンと立地協定

4月12日、市役所で(株)エヌチキンとの立地協定式が行われました。この協定は、(株)エヌチキンが、より効率的で衛生管理を重視した生産体制や製品の生産能力の向上などを目的に工場を増設するにあたり、建設・操業が円滑に行われるよう相互協力体制を構築するものです。今回の工場の増設によって、地域での雇用の維持・創出にも大きく貢献し、畜産振興へつながるものと期待されています。



▲(株)エヌチキンの徳満義弘代表取締役(中央)。田崎寛二県商工労働労働水産部長(右)の立会いの下、協定書への調印が行われました。

～名誉市民塗木早美氏功績碑の除幕式～ 木早美氏の功績をたたえ

4月27日、市役所知覧庁舎にて、名誉市民塗木早美氏功績碑の除幕式が行われ、関係者ら約60人で祝いました。塗木氏は、知覧町議会議長を経て、昭和50年4月より4期16年もの永きにわたり知覧町長を務め、農業の振興、特攻平和会館の建設、武家屋敷群の保存整備に尽力し、平和スピーチコンテストや薩摩小京都まつりの開催を通じて知覧の名を全国的に広めるなど、その功績は本市の礎となっています。



▲知覧庁舎正面東側に建てられた功績碑。塗木早美氏の長年にわたる数々の業績が刻まれています。

～北九州市との交流協定締結10周年～ 北「九州」市長会談

5月2日、北九州市の北橋健治市長が本市を訪れ、塗木市長との会談が行われました。北九州市とは、市名に同じ「九州」がつくことから平成20年に交流協定を結び、子ども交流事業や職員派遣などを通じて交流を深めています。会談では、協定締結10周年を記念した合同物産展を8月に東京で開催し知覧茶のPRを行うことを決定するなど、連携事業を通じた交流を継続していくことが確認されました。



▲がっつりと握手を交わす北九州市の北橋市長(左)と塗木市長。

森

～第18回かわなべ馬事公苑ポニー祭り～ 林に蹄の音がこだまする

4月8日、かわなべ馬事公苑ポニー祭りが開催。春空の下、参考6レース・決勝6レースが行われ、全30頭のポニーが足を競い合い、大勢の観客を魅



▲大勢の観客から声援を受け、馬事公苑を駆け抜けるポニー。

了しました。昼食時には、踊りやポニーの鈴かけ馬、ポニー馬による体験乗馬もあり、子どもたちも楽しんでいました。

地

～第5回キャンドルロード in 東～ 域で育むキャンドルの灯り

4月22日、川辺町下山田東地区で第5回キャンドルロード in 東が開催されました。昼間はフリーマーケットや演芸ステージが行われ、夜は東地区メイン



▲キャンドルアートの幻想的な灯りに多くの来場者は癒しを感じていたようでした。

ストリート約1.2kmに並ぶ紙灯籠に火が灯り、通りに面したあちこちでキャンドルアートが淡く暖かに輝いていました。

清

～鹿児島水産高等学校からコイの贈呈～ 流溝にコイを放流

4月27日、鹿児島水産高等学校海洋科栽培工学コースの生徒たちが卵から育てたコイ100匹の贈呈式がありました。生徒を代表して古市莉玖さんが「育



▲多くの観光客が知覧武家屋敷庭園群を訪れる大型連休を前にコイを放流しました。

てたコイが観光の手助けになれば大変うれしい」とあいさつ。式後は知覧幼稚園の園児と一緒に、清流溝に放流しました。

西

～「西郷どん」オリジナルフレーム切手～ 郷どんを機会にアピール

大河ドラマ「西郷どん」の放映を記念して日本郵便がオリジナルフレーム切手を作成。その台紙に知覧武家屋敷庭園群が紹介されていることから、4月27



▲大迫雅彦南薩大川郵便局長(右)よりフレーム切手の贈呈を受ける塗木市長

日、本市に対し贈呈されました。塗木市長は「多くの方に本市の良さを知ってもらう良い機会をいただいた」と語りました。

森

～森林災害の軽減、早期復旧のために～ 林災害協定調印式

5月1日、本市と鹿児島県南薩地域振興局および鹿児島県森林土木協会加世田支部(本市会員9社)が、「森林災害協定」を締結しました。協定の内容は、森



▲上村大一郎県森林土木協会加世田支部長(左)、五田嘉博県南薩地域振興局長(右)。

林災害発生時に協会員が、山地崩壊、土砂流出、林道施設などの被害状況をボランティアで情報収集し、提供するものです。

特

～第64回知覧特攻基地戦没者慰霊祭～ 攻隊員1,036柱の冥福を祈る

5月3日、知覧特攻平和観音堂で戦没者慰霊祭が行われ、遺族らが全国各地から参列し、戦没者の冥福と恒久平和を願いました。塗木弘幸顕彰会会長は



▲参列者全員の献花が行われ、戦没者を追悼しました。

「崇高な精神を未来永劫に顕彰し、史実を後世に伝え、平和の尊さ、命の大切さを語り継いでいきます」と述べました。